

## 今年も会えたね!サマースクール

松山聾学校の毎年恒例の夏のイベントであるサマースクールが、7月31日に行われました。本校の子供たちと、地域の幼稚園や小学校中学校で学ぶ子供達が、一緒に活動を楽しんだり体験学習を行ったりして有意義な時間を過ごすことができました。

### たのしかった サマースクール … 幼稚部



幼稚部のサマースクールには、本校以外から10名、本校から7名、兄弟6名の合わせて23名の子供もが参加してくれました。

自己紹介の後、みんなで水着に着替えて準備体操を兼ねたダンスをしました♪

「水遊び」では、おもちゃや水てっぽうで遊んだり、すべり台をすべったりして遊びました。みんなで一緒に楽しく遊べましたね。



「スイカ割り」では、力いっぱいスイカをたたくことができましたね。みんなでいっしょに食べたスイカは、あまくてとてもおいしかったですね。

たくさん食べたお友だちや保護者の方もいました♪



「かき氷やさんごっこ」で食べたかき氷もとてもつめたくておいしかったですね。

また、みんなで集まって楽しく活動しようね。



ちなみに、今年サマースクールは、幼稚部、小学部、中学部、高等部合わせて本校から28名、地域の園や学校等から16名、計44名が参加しました。

## みんなで協力して、楽しく活動できた小学部

今年のサマースクールには、本校から9名、他校から4名の子供達が参加してくれました。初めは緊張している様子の子供達でしたが、オリエンテーションの自己紹介や質問タイムをする中で、少しずつ打ち解けていきました。相手に伝わるように、手話や筆談など色々な方法で、コミュニケーションをとることができました。

集団遊びでは、「親子ボール運びレース」と「ハンカチ落とし」をしました。どちらのゲームも保護者の方や先生、友達との関わりを楽しみながら、いっぱい体を動かすことができました。

グループ活動では、「段ボールで動物を作ろう!」をしました。グループで話し合っただけで決めた動物を作るために、一人一人がアイデアを出し合い、夢中になって時間いっぱい活動できました。最後には、出来上がった作品や工夫したことについて、グループのメンバー全員が発表することができました。子ども同士のコミュニケーションも活発に行われ、楽しい時間を過ごすことができました。感想発表でも、たくさんの子供達から「楽しかった」という声が聞こえてきました。来年のサマースクールも楽しく活動しましょう。



## 専門学校の「授業」を体験・・・中学部・高等部

中学部・高等部では、昨年、一昨年に続き、市内の専門学校の出張授業を受講し、校内外の中高生が体験活動を通して交流を深めました。



「河原パティシエ・医療・観光専門学校」の授業では、パティシエの代表的な技術「パイピング」と「マジパン細工」の実習を行い、「河原アイペットワールド専門学校」の授業では、聴導犬との接し方や訓練の仕方について、犬とふれ合いながら学びました。生徒からは、次のような感想が聞かれました。

- (私は就職希望ですが) 進学しようと考えている生徒にとっては、良い経験になったと思います。(本校高等部生)
- 将来何をしたいか、改めて自分を見つめ直す時間が作れたのが良かった。今日は参加して良かったです。(本校高等部生)
- 楽しくできておもしろかったです。(外部参加: 中学生)
- また参加したいです。(外部参加: 中学生)

## 第1回 松山聾学校ネットワーク会議を開催しました

本校では、県内の聴覚障害等に関わる療育や医療、福祉等の機関と、聴覚障害のある子供の療育や就学を始めとした様々な支援を連携して行うための体制作りを目指して、毎年2回、ネットワーク会議を開催しています。今年度も8月22日（金）に、県下の難聴特別支援学級の担任の先生方、県視聴覚福祉センターの言語聴覚士の先生方にお越しいただき、第1回目の会議を行いました。

人工内耳のリハビリテーション専門機関として全国で4番目の施設として設立された「愛媛人工内耳リハビリテーションセンター」のセンター長、高橋信雄先生をスーパーバイザーとしてお招きして難聴児理解の研修を行ったほか、西条市立西条小学校の河合佳八子先生による実践報告、難聴特別支援学級間の連携についての研究協議等を行いました。会議を通して、年々地域の支援体制が充実していることを実感しました。

## 「聴覚障害児のミングルアート」

近年の本校美術部の活躍は目覚ましいものがあります。この度、愛媛大学教育学部と本校との教育研究交流が50周年を迎えるという節目にあたり、本校の教育活動の紹介として「聴覚障害児のミングルアート」が企画されました。

「ミングル（mingle）」というのは、異なるものを混ぜる、ミックスするという意味だそうです。「ろう」としての感性を武器に、一般の人と混ざり合い活躍する本校生徒の軌跡を、いろいろな方に見ていただく機会になればと願っています。

期間：2014年10月3日から

2014年11月2日まで

（火曜日休館）

場所：愛媛大学ミュージアム

企画展示スペース・多目的ルーム（松山市文京町3番 愛媛大学城北キャンパス）

開館時間：10:00～16:30

入場料：無料



【本の紹介】

## 聲[こえ]の形

大今良時 作

単行本は既刊 5 巻 (2014 年 8 月現在)

※ 2014 年 10 月に第 6 巻刊行予定

定価: 各 463 円 講談社

いろいろなところで、いろいろな意味で話題になっている作品です。

聴覚障害者を取り上げた小説や漫画等の作品自体は以前から見受けられますが、最近の作品は、聴覚障害者本人が語っているかのような、リアルで強烈なインパクトのある内容のものが少なくないように感じます。

「聲の形」も、まさにそういう作品、かも。



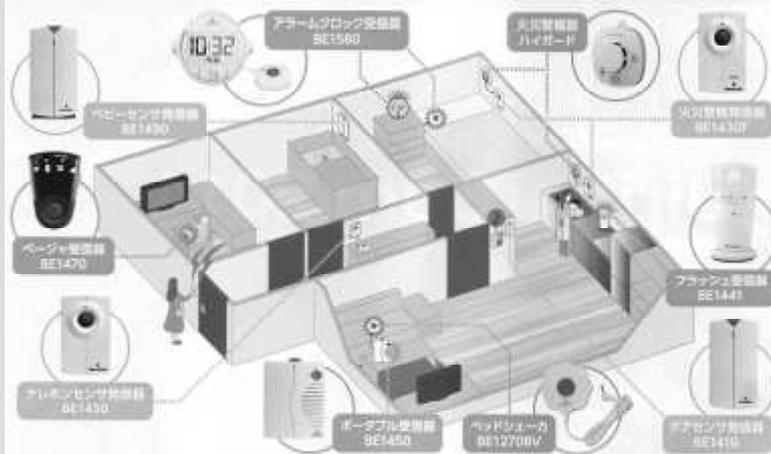
## 今年もやります！ 文化祭・福祉機器展示

今年度の文化祭は、10月の第3日曜日である10月19日(日)に本校を会場として行われます。今年度もトーシン松山店さんの御協力により、福祉機器展示を行います。

近年、簡単に設置できて多機能になった屋内信号装置や強力目覚まし等を展示する予定です。実際に光や振動等を体験し、触って確かめるよい機会ですので、是非お立ち寄りください。

また、同じ場所で、「聾学校の歴史」として、昔の補聴器や教科書等の展示も行う予定です。

場所は北教棟 2 階の高 3F - 2 の教室です。他教室の展示よりやや遅い開始となりますので御了承ください。



図は「ベルマンビジットシステム」自立コムパンフレットより

## 編集後記

「みみちゃん」第 59 号をお届けいたします。報道等によると、今年は 11 年振りの「冷夏」だったそうです。そうした中、本校では、地域への支援事業である毎年恒例のサマースクールや公開講座等を行い、子供たちも教員も例年よりも「熱い」夏を過ごしました。御参加くださった皆様ありがとうございました。